

The Creative Power of Culture: From Kyoto to the World

体感する、京の文化力

現在「伝統的」と言われるものの多くが、創生当時「革新的」であったように、今、「はじめる、新しいものをつくる」ことが、100年後200年後の未来につながっていくことを提示したい—京都文化力プロジェクトが目指すものは、未来へのレガシー（遺産）を創造し継承する文化を、ここ京都から明日へ、世界へと発信すること。その実現の一端を担う機関誌として、今号では2018年度のリーディング事業の特集レポートをはじめ、多数のインタビュー記事を掲載。創造の地平を切り開く表現者たちが語る京の文化力を体感してください。



京都文化力プロジェクト 機関誌に寄せて

京都大学IPS細胞研究所所長・教授
京都文化力プロジェクト実行委員会 名誉顧問

山中 伸弥

(敬称略)

私が京都に研究拠点を移してから、15年近くになります。京都には、科学や人文系の分野で最先端の研究が行われている大学が数多く集まっており、研究者どうしが交流しやすい環境が整っていると感じます。

研究環境だけでなく、京都の歴史ある文化も国内外の研究者にとって魅力的です。特に海外の研究者は、プライベートの時間を利用して、京都の神社仏閣などの観光名所を訪れたり、日本の伝統的な料理を味わったりすることを楽しみにされている方も多ようです。文化的な国際交流を通じて研究者どうしが親しくなることは、研究を発展させる大きな力になっています。

今後ますます京都の文化が発展していくためには、大学などの研究機関の力も重要だと思います。いろいろな分野、さまざまな国の研究者が議論しあうことで、研究の質が高まり、その結果、優秀な研究者や学生をさらに呼び込むことができ、京都がますます多様性と活気に満ちた街になるのではないかと思います。そのような研究環境を整えるため、私も微力ながら努力していきたいと思っています。

INDEX

- 03 野外インスタレーション公募展
- 11 クリエイターズインタビュー 創造のまち 京都
- 17 アスリート×京都 フィギュアスケート選手 宮原知子さん
- 19 京都文化力向上宣言
- 21 京都文化力プロジェクトが目指すもの